



ユネスコ無形文化遺産

長浜曳山まつり

《曳山の飾り幕》

企画展

# 祭を魅せる デザイン

～色彩と文様のチカラ～



桐幕 (左後)「瀑布図」  
神戸町組孔雀山蔵



面幕 (左)「松波に手長猿図」  
伊部町組翁山蔵

2022  
4/29  
(金・祝)  
6/5  
(日)

※会期中に一部展示替を行います

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON SU AND HAKUBUTSUKAN AVE.

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

会場 長浜市曳山博物館(長浜市元浜町14-8)

入館料 大人600円/小中学生300円

※20名以上の団体は2割引、長浜市・米原市の小・中学生は無料。  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方  
及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

主催 公益財団法人長浜曳山文化協会



# 祭を魅せる デザイン

～色彩と文様のチカラ～

江戸時代後半ごろから造られはじめた長浜の曳山。これらには長浜曳山祭をきらびやかに演出するため、見送幕など多種多様な懸装品<sup>けそうひん</sup>で曳山を飾り立てています。見目の色彩は鮮やかで、それだけでも気分が高揚してきます。見られることを意識した飾りには、祭を盛り上げるための大きなパワーが潜んでいます。

一方で、そこに描かれている文様をよく見ると、色々と考えられたものが用いられています。現代の人には意味のないただのデザインに思えても、実は当時の人びとにとって重要な意味をもっているものなのです。そこには祭を執り行う人たちの願いや祈りが込められていて、そうした思いがさらに曳山祭を盛り上げ、永続させていく力となっているのです。

本展ではこうした懸装品のうち飾り幕類を中心にいき、色彩や文様の意味を再確認し、当時の人びとがどのような願いや祈りを持っていたのか再認識していこうと思います。そのことは長浜曳山祭の根幹にもかかわってくることで、重要なことです。さらに過去の人びとの思いを振り返ることにより、現在の長浜曳山祭の楽しみ方を豊富にさせてくれることにもなるでしょう。



花道幕「菊花に雲笹色紙文」  
月宮殿田町組蔵



花道幕「雲龍図」  
呉服町組常磐山蔵



面幕「七宝文雲龍図」  
呉服町組常磐山蔵



紙型「雲文」 個人蔵



紙型「菊水」 個人蔵



胴幕「波に飛燕の図」北町組青海山蔵

展示説明会  
・4月30日(土)  
・5月4日(水祝)  
・5月7日(主)

13時30分  
予約不要

## 曳山の展示

実物の曳山をご覧いただけます

【曳山2基公開】

2022年4月25日(月)～7月24日(日)[予定]

翁

山

常磐山



NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

## 曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300

[FAX] 0749-65-3440

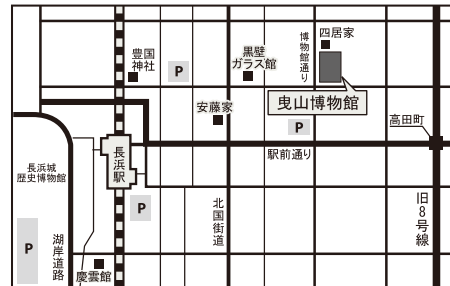
<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>



| 入館料            |      |      |                    |
|----------------|------|------|--------------------|
|                | 大人   | 小中学生 | 障がい者               |
| 個人             | 600円 | 300円 | 無料                 |
| 団体<br>(20名様以上) | 480円 | 240円 | 障がい者手帳の提示で本人と介護者1名 |

\*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時(入館は16時30分まで)  
■ 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分